

● 8月15日(月) 快晴 室蘭岳(鷲別岳)(911m)

○ 昨年登った室蘭岳だが天気が良くなかった。今日は天気が良いので今年もまた登った。

・昨夜はかなり疲れていたのか熟睡し、今朝目が覚めたら5時15分だった。外は快晴だ。寝坊してしまった。昨夜ポケモン・ゴーでゴった返していた駐車場周辺は今朝はもう誰もいなくて静かだ。遠くに室蘭岳が良く見えている。



道の駅の朝



室蘭岳が遠くに見える

・朝の支度をすませ6時に道の駅を飛び出し室蘭岳へ向かった。6時半に登山口のある「だんぱラスキー場」の駐車場に到着。車は数台止まっているので、もう登っている人がいるだろう。私もすぐ登り始めた。



白鳥ヒュッテ

・芝生のグレンデ横にある登山道を歩いて白鳥ヒュッテへ。ここで左の西尾根コースと右の南尾根コースに分かれるが、昨年同様今年も左の西尾根コースを登りに使った。

・このコースは林間の静かな道で草木が多く、去年は色々な花やランの類が豊富で実に楽しい道だったので今年も期待したが、8月中旬の今ではもう花の時期は終わっており、ヤブハギの花、ズダヤクシュの果実や



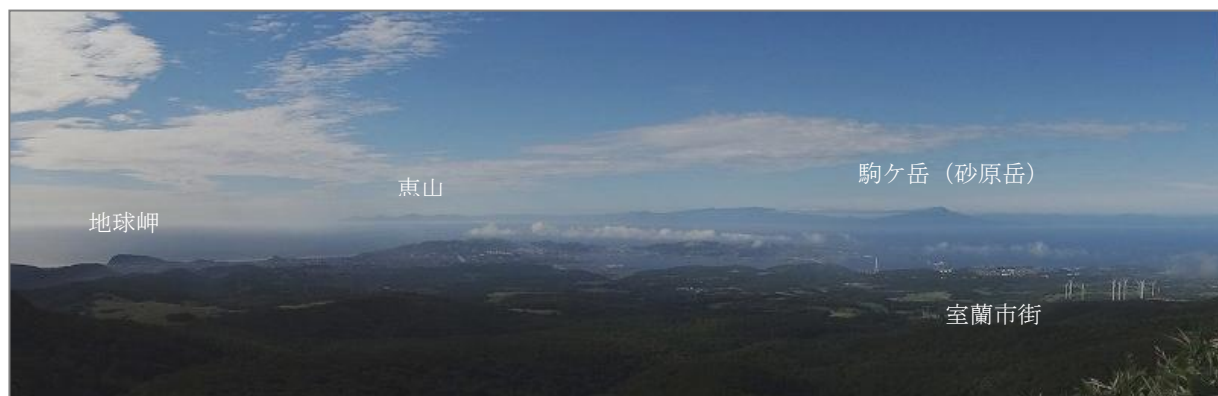
ズダヤクシュの果実



オオヤマサギソウ

オオヤマサギソウの花が顔を見せてくれただけで、期待した花々にはお会いできなかった。

・825ピークへ出るまでは木陰の無い笹原の急坂で、太陽の直射をもろに受けて地獄の暑さの中だ。ただ足元には噴火湾が一望され、湾の手前に室蘭の街そして地球岬が、湾の向こう側には遠く函館方面、恵山から駒ヶ岳(砂原岳)がはっきり見える絶景が広がっている。



・尾根に出てからの道は、無風快晴の猛暑で参ったが、ヨツバヒヨドリ、ミヤマアキノキリンソウ、ヤマハハコ、アザミ、ハナニガナ、オトギリソウ、チャボヤマハギ、イブキゼリ、ミヤマコウゾリナなど色々な花が咲いていてそれなりに楽しい道だった。



ヨツバヒヨドリ



ヤマハハコ



アザミ



オトギリソウ



チャボヤマハギ



イブキゼリ

・9時半に室蘭岳山頂に着いた。山頂には数パーティー休憩していた。山頂は木に囲まれているので、360度の展望は無いが、噴火湾方面はすっきり晴れて、地球岬、白鳥橋、室蘭市街が、噴火湾の向こうには恵山・函館方面と駒ヶ岳のがバッチリ見える。



・ただニセコ・羊蹄山方面には雲が発生してきて羊蹄山が雲に隠れてしまった。足元の有珠山は良く見えていたが、だんだん雲が湧いてきて徐々に見えなくなってきた。



地球岬



駒ヶ岳

景色を楽しみながら30分ほど山頂に滞在したが、その間に入れ換わり立ち替わり登山者がやって来た。室蘭市民に愛されている山といわれているだけあると感じた。

・下りは右側の南尾根コースを下った。広々とした笹原の中の道を噴火湾を下に見ながら気持ちよく下る。このコースはもともと西尾根コースより花の少ない道で、花期の終わった今は写真に撮るような花は無いので道草せずにとんどん下り、1時間ちょっとでだんぱらスキー場駐車場まで下ってしまった。



・だんパラスキー場は夏は公園・キャンプ場でもあるので、トイレや水場が整備されている。汗まみれの下着を水場で洗濯し、日に干しながら木陰で昼食をとった。太陽にのり差しは暑いですが、木陰は涼しくて気持ちが良い。まだ昼前なので木陰でのんびりと休息した。



・台風はこの辺ではほとんど影響なく、晴天が続いている。明日も天気の崩れはなさそうなので、黒松内岳に登ることにしてこれから黒松内へ向かう。ここからすぐ近くだ。

・噴火湾に沿って国道 37 号線を走り、静狩峠で道道に入って黒松内町をめざした。この国道沿いにもオオハンゴンソウが繁茂し花をさかせて真黄色だ。



・特別外来生物オオハンゴンソウに関しての北海道の状況はひどいものだ。

・黒松内町に着いたらまず黒松内の温泉「ぶなの湯」に行きゆっくり今日の山でかいた汗を流した。



・温泉を出てから約 8km 離れた道の駅「くろまつない」に行きここを今日の宿と定めて車を止めた。

ここは昨夜の室蘭とは打って変わって人も車も少なく静かな道の駅だ。ゆっくり寝れそうだ。



・寂しい夕食をすませ、明日の黒松内岳に思いを馳せて7時に就寝。